
私がサバイバル！？

コルっち

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私がサバイバル！？

【Nコード】

N3901BA

【作者名】

コルっち

【あらすじ】

今書くとネタバレっぽくなってしまっているので、ある程度、話が進んだらあらすじ書きます。あらすじなんかよりどうぞ読んでください！

プロローグ（前書き）

あけましておめでとうございますがまだ通じるのかわかりませんが・

・
明けましておめでとう御座います！

どうも、コルつちです！！

書きたくなったから書きました！

これで三作品目ですが、他のもよろしくお願い致します。

プロローグ

チュンチュンチュン、ピョピョピョ

小鳥がさえずっている。

うーん、カーテンから覗く朝日が眩しい。

ああ、もう朝かあ…

今日も昨日と変わらないし、そしてこれからも特に変わらない日々が続くのだろう。面倒くさいなあ…

「比奈、時間よーそろそろ起きないと学校に間に合わないわよー」

「はあーい！今いく！」

仕方がない、今日もつまらない日々を頑張って終わらすかあ。

と気合をいれたところで、ベッドから起きた。

1階のリビングに降りたらお母さんはいつも通りに朝食の準備をしてくいて、

「あら、やっと起きた？おはよう」

あれ、何時もはこの時間には起きているお父さんは見当たらなかったからお母さんに、

「おはよう。ねえママ、もうパパってもう会社に行ったの？」

「うーん、たしか今日は出張だから昼ぐらいに家出るとか行っただけど…」

「そうだ！朝ご飯の準備中でママ、手を離せないからパパにもう朝ご飯だってパパ起こしに行ってきて！」

「えっ、うーん…どうしようかな…」

まあ、寝てるお父さんのいびきうるさいし2階だから朝起こすの面倒くさいからあんまり行きたくないなあ…でもお母さんからのお願いだし私に何かと甘いからこの前、家族で出かけた時、かわいい服買ってくれたし次回も買ってくれるかは日々のポイント稼ぎだよね？仕方ない今回はサービスだ！

「OKだよ、わかった〜」

「ありがとう〜！たすかるわあ！」

タッタッタツ…階段をのぼってと、お父さんの部屋の前で「コンコン」
!

「パパ、入るよ」

グガア〜！！！！グガア〜！！！！ グガア〜！！！！

えっ、何これ怪獣のいびき？ホントにうつ、うるさいんですけど…
さっ、さすが出張の時ホテルで寝てたら隣の部屋の人に壁、叩かれ
たとか言われるだけあるわ…

殺人的ないびきをかいているから、普通の声で起きてとか言った所
でムダなのはわかってるので、
すうーと少し大きく息を吸って…

「ねえ、パパ！もう朝ご飯だから早く起きて！」

いびきがやんでムニヤムニヤ…と何か言い出した。

よし、起きなかったけどこの調子でもう一度！すうー！

「ねえ、パパってば、朝ご飯だから起きてって！！起きてくれない
と私、学校遅刻しちゃうー！！」

「ムニヤムニヤ…ん？もう朝か、おっ比奈じゃんおはよう」

とすごい眠たそうにお父さんに言われた。

「おはよう、朝ご飯だから早く降りてきて」

「わかった、今いく」

よし、任務完了っ！

またリビングに降りると、ちゃんと食事が並べられていてお母さんに、

「ありがとうね〜 はやく、食べて学校いきなさい〜」

「はい、いただきます!」

今日の朝ご飯は、トーストに蜂蜜をたっぷりぬったやつに猫舌だから少しぬるめの紅茶だ!

かぷっ…

うん、甘くておいしい! なんて思っていたら

ガチャ!

「ママ、比奈おはよう」

「おはよ、パパ」

「あら、起きたのね？ パパおはよう、 はいごはん〜」

とお母さんは私の隣に自分の分をお父さんの分を向かい側に朝食をおき二人とも座った。

「いただきます」

そしてお父さんがテレビを付け、朝のニュースで政治かがどーだのこーだのやっていた。

そして最近の政治家はダメだよね〜なんて話してたら星座占いにかわり、私のかに座は、2位だった！！なになに、今日は良い1日でしょう。でも悪い事があつたら逃げましょう。

ラッキーアイテムはボールペンです。

ふーん、2位かあビミョーどうせなら1位が良かったなあ…

にしてもボールペンねえ…なんて思ってたら内容が今日の天気になった。

今日も相変わらずお天気姉さん可愛いな〜

なになに、OK、OK。今日も晴れねえ、何時でも晴れが一番だ！よし、食べ終わったし学校に行きますか。

「じちそうさまでしたー！」

そうして、学校の身支度をし何時も通りの時間に何時も通りに

「行ってきます〜」

「行ってらっしゃい〜」

といつもどおりに何回も繰り返した動作で家を出た。

私こと中山 比奈は高校2年の5月のこの時、普通の平和な日々があっさり崩壊していくなんでまだ知る由もなかったのである。

プロローグ（後書き）

御意見、御感想、その他よろしくお願いします！！

ペコリ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3901ba/>

私がサバイバル！？

2012年1月10日07時48分発行